



教員名：
安達 博文
Hirofumi Adachi
専門分野：
絵画



作品名 : 時の符-III
大きさ : 2590 × 1940 mm
素材・技法 : テンペラ、岩彩、アクリル、水彩、白亜地パネル
制作年度 : 2008 年
展覧会名 : 第 82 回 国展
開催場所 : 国立新美術館
備考 : 会員出品



作品名 : 時の符-IV
大きさ : 2590 × 1940 mm
素材・技法 : テンペラ、岩彩、アクリル、水彩、白亜地パネル
制作年度 : 2008 年
展覧会名 : 第 82 回 国展
開催場所 : 国立新美術館
備考 : 会員出品



教員名：
小川 太郎
Taro Ogawa
専門分野：
漆工芸



作品名 : 乾漆平文短冊箱
かんしつひょうもんたんざくばこ
大きさ : 400 × 100 × 90 mm
素材 : 麻、漆、金、白蝶貝
技法 : 乾漆、平文
制作年 : 2008 年
発表場所 : 池袋西武本店、石川県輪島漆芸美術館、天満屋岡山店、高松天満屋、ローマ日本文化会館
備考 : 第二五回日本伝統漆芸展 入選
ローマ賞祭典「北陸の工芸・現代ガラス工芸展」
ダニーロ・エッカー賞受賞



作品名 : 乾漆朱塗合子
かんしつしゅぬりごうす
大きさ : 343 × 192 × 133 mm
素材 : 麻、漆
技法 : 乾漆
制作年 : 2008 年
発表場所 : 高岡市美術館
備考 : 第四七回日本伝統工芸富山展
北日本新聞賞受賞



教員名：
 沖 和宏
 Kazuhiro Oki
 専門分野：
 視覚デザイン



作品名：ゆらぎ華色法を用いた携帯電話カバーサンプル
 寸法：47 × 90 × 1 mm
 制作：三光合成株式会社（受託事業）
 制作年：2008年
 備考：三光合成(株)が開発した「ゆらぎ華色」（凹凸を施したプラスチック面への特殊塗装により、見る角度に応じて独特の色相変化を起こすもの）の特徴をデモンストレーションするためのモールド提案



教員名：
貴志 雅樹
Masaki Kishi
専門分野：
建築デザイン



埼玉県越谷市に建つ、90名定員の保育園である。建物は、北側のエントランスから、縦動線、南側のランチスペースに至る部分を軸として、東側に南北軸より25度振った保育室棟（1階乳児保育室、2階幼児保育室）と西側の管理棟（1階事務室、厨房等、2階プレイルーム）という構成である。

構造は大断面を用いた木造2階建て、木造で2階に保育室のある保育園は日本で初めての試みである。建物は用途上、準耐火建築物にする必要があったため、木材の断面は、燃えシロをみて、構造上必要な断面より25mm大きなものを採用した。

□建築概要

- ・所在地 埼玉県越谷市谷中町
- ・完成年度 2009年3月
- ・用途 保育園
- ・構造規模 木造2階建て
- ・敷地面積 1322.46㎡
- ・建築面積 476.59㎡（建ぺい率36.04% 許容60%）
- ・延床面積 765.62㎡（容積率59.89% 許容200%）
- ・外部仕上げ
 - 屋根 ガルバリウム鋼板タチハゼ葺
 - 外壁 リシン吹付、レンガタイル貼、ガルバリウム鋼板角波貼
 - 開口部 アルミサッシ
- ・主な内部仕上げ
 - 床 パインフローリング
 - 壁 PB目地処理ノ上ビニールクロス
 - 天井 PB目地処理ノ上ビニールクロス



教員名：
後藤 敏伸
Toshinobu Goto
専門分野：
木彫 環境造形



作品名 : Codon 0908 (黙) 2009年
富山市民プラザギャラリー
大きさ : H800 × W1000 × D400 mm
素材 : 樺
展覧会名: 「触展Ⅷ」(企画・運営・出品)

形態の軽妙な出し入れによって、リズムあるいは流れを表現している。非現実的な形象の想像性を引き出し、不安定な内面性をも具現化したい。



作品名 : Codon 0807 (凜) 2008年
富山市民プラザギャラリー
大きさ : H1200 × W900 × D550 mm
素材 : 楠
展覧会名: 「触展Ⅶ」(企画・運営・出品)

掌で形態を確認しつつ制作。触覚性の心地良さを求めながら、視覚的存在感を意図したものである。



教員名：
小松 研治
Kenji Komatsu
専門分野：
木材造形



作品名：「馬車のベンチ」
制作年：平成20年5月
素材：スウェディッシュオーク（楡）
サイズ：幅500×長さ3800×高さ800mm
技法：鉦（ちょうな）による切削加工
発表場所：マリエスタード市職能大学構内、イエーテボリシ
ティーホール他巡回

この作品は、スウェーデン、マリエスタード市が開催した「ジョイントプロジェクト」で制作したものである。スウェーデン、セネガル、オーストラリア、日本の4カ国、総勢11名の木工作家が、自国の伝統的木工手道具を使用する条件下で、「座る」をテーマに制作を行った。

馬車に似た形態が座ることを、枕の形は横になることを誘導する情報として制作した。制作には鉦（ちょうな）と呼ばれる古代の道具を使用して、荒々しくも美しい削り跡を残し、設置される空間との調和を図った。

（マリエスタード市買上げ、市議会場エントランスホール設置）



教員名：
齊藤 晴之
Haruyuki Saito

専門分野：
工芸美術、漆造形、立体造形



作品題名 : 「時の寓話」
 大きさ : 570 × 690 × 280 mm 縦・横・奥行き
 素材 : 素地材質；エポキシ樹脂、生漆、和紙
 技法 : 下地；錆地
 塗装；紙肌、色漆、生正味漆、金箔
 制作年 : 2009年（平成21年）3月
 発表場所 : 第48回日本現代工芸美術展
 会期 : 3月26日～4月4日
 会場 : 東京都美術館
 主催 : (社) 現代工芸美術家協会
 後援 : 文化庁、東京都、NHK
 受賞 : 蓮田修吾郎賞受賞

基本作品として、2009年4月7日より11月15日までに渡って名古屋、京都、新潟、横浜、金沢、香川、山梨の巡回展において展示される。

時の流れの中で、自然に侵食され、形に刻まれるフォルムと不特定の痕跡達、人の意識の中で築かれた造形物が自然との交わりによってその時々々の風景を取り込んでいく。



作品題名 : 「時の記憶Ⅰ」「時の記憶Ⅱ」「時の記憶Ⅲ」「時のしるべ」
 大きさ : 時の記憶Ⅰ 800 × 1820 × 600 mm 縦・横・奥行き
 時の記憶Ⅱ 700 × 2000 × 520 mm
 時の記憶Ⅲ 300 × 2000 × 300 mm
 素材 : 素地材質；木材（栗、栃、タモ）、生漆、アルミ板
 技法 : 塗装；拭漆仕上げ、金属ウレタン塗装
 制作年 : 2005年（平成17年）4月
 （とやまの美 20057人のいま・未来展）出品作品

大きさ : 時のしるべ 380 × 310 × 150 mm が8個
 素材・技法 : 陶焼メ タタラ造り型押し成形
 制作年 : 2009年（平成21年）6月

発表場所 : 黒部市国際文化センター コラーレ 企画展
 Art Grove in COLARE 齊藤晴之×藤井 武において屋外展示
 会期 : 2009年（平成21年）7月5日～2010年（平成22年）2月14日
 会場 : 黒部市国際文化センターコラーレ
 主催 : (社) 黒部市国際文化センター
 共催 : 北日本新聞社
 後援 : 黒部市、黒部市教育委員会、NHK 富山放送局

拭き漆の木材を組み合わせた造形作品が3点、黒部市国際文化センターコラーレの屋外に広がる水をはった広い池の中に配置する。

それらを陶焼メの作品で一直線に配置する。今に至る時間と、これからの時を意識する。黒部の広い空が水面に写り、環境に溶け込む。

5月18日に最初の組み立て搬入を行い、次の年の2月までの展示。四季の風景の中で表情を変えながら、新たな「時の記憶」をその中に埋め込む。



教員名：
清水 克朗
Katsuro Shimizu
専門分野：
金属工芸



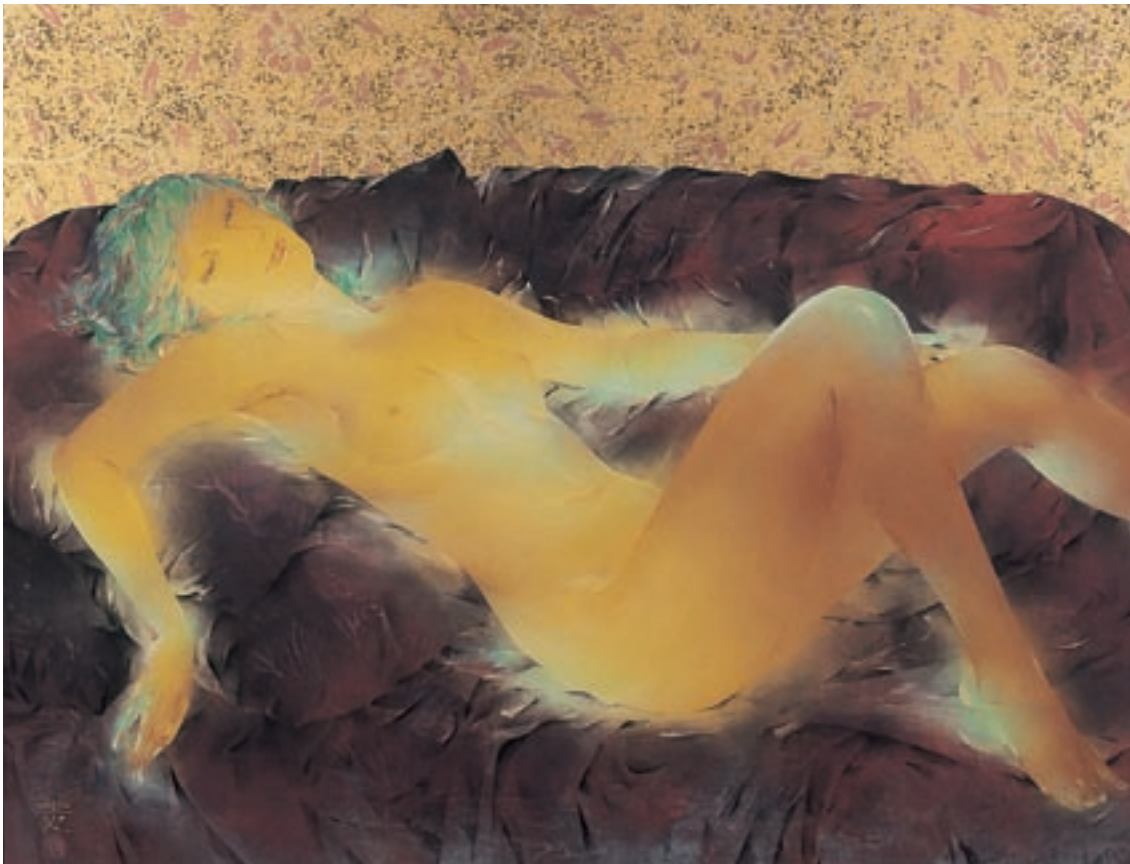
作品名 : ペーパーナイフ
大きさ : 217 × 29 × 12 mm
素材 : 無鉛青銅
技法 : 生型鑄造
制作年 : 2008 年
発表場所 : 「日本の鑄金いものの形'08 展」
埼玉県立近代美術館



作品名 : 鑄銀波透胸飾・指輪
大きさ : 胸飾 50 × 50 × 8 mm
指輪 31 × 24 × 18 mm
素材 : 銀 925
技法 : 精密鑄造
制作年 : 2008 年
発表場所 : 「第 4 回佐野ルネッサンス鑄金展」
佐野市文化会館



教員名：
高島 圭史
Keishi Takashima
専門分野：
日本画



作品名：「きいろいひと」
大きさ：H909 × W1167 mm
技法：日本画 紙本彩色
素材：岩絵具、金箔、雲肌麻紙
制作年：2008年
展覧会名：東京芸術大学日本画研究室作品展 「ひとつの現場から」
開催場所：日本橋三越



作品名：「夕立つ風の」
大きさ：H409 × W334 mm
技法：日本画 絹本彩色
素材：岩絵具、染料、金泥、絹
制作年：2008年
展覧会名：東京芸術大学日本画研究室作品展 「ひとつの現場から」
開催場所：日本橋三越



教員名：
高橋 誠一
Seiichi Takahashi
専門分野：
漆工芸



作品名 : うるしのあかり
寸法 : H280 × W120 × D120 mm
素材 : 漆、和紙、木材
制作年 : 2008年
発表場所 : ギャラリーバルト (富山市)
高橋誠一展「水玉のうるし達」



作品名 : 乾漆楕円の器 (白檀)
寸法 : H110 × W280 × D200 mm
素材 : 漆、麻布
制作年 : 2008年
発表場所 : ギャラリーバルト (富山市)
高橋誠一展「水玉のうるし達」